

運営推進会議開催報告書

開催日	令和5年7月28日	13:30~14:30
出席者		議題
利用者	0名	1. 実績報告 2. 火災感知器の異常について 3. 身体拘束について
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	2名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	3名	

ご意見等のまとめ

1. 実績報告

グループホームらく令和5年4月、令和5年5月の主な出来事について報告させていただく。

2. 火災感知器の異常について

火災感知器が異常をきたし、火災報知器、自動火災通報装置が誤作動した事を報告させていただき、今後についてご意見をいただく。

- ・火災感知器の劣化具合を把握しておく。
- ・急激な温度変化でも作動することがあるので、仕様を把握しておく。
- ・誤作動時の対応を記し、わかりやすい場所に備えておく。
- ・パニックを防止する意味で、報知器の音に慣れるために訓練の際に実際に報知器を鳴らす。

等のご意見をいただきました。

今後上記の点を訓練に取り入れ、対応についてもわかりやすくまとめ、常備しておきたいと思います。また機器の仕様や劣化具合についても調べておきたいと思います。

3. 身体拘束について

お一人で外へ出られてしまう利用者様があり、安全管理としての玄関の施錠についてご意見をいただきました。

- ・すきを見て出ていこうとするのであれば鍵は閉めておいた方がいい。
- ・防犯の観点からも施錠しておいた方がいいのでは。
- ・なるべく刺激の少ない音のセンサーをつけてはどうか。
- ・音の鳴るものがだめなら、光のセンサーもある。

等のご意見をいただきました。

スタッフが手が離せない状態で、出て行ってしまうこともあるのと、防犯上の理由から時間帯をしぼり玄関を施錠する事にしました。

外へ出たいという利用者様が居る時は、行ける状況であればスタッフが一緒についていき、行けない状況であれば、理由を説明し納得を図っていく事にします。